

平成22年11月9日

T1 木下 浩秋

T2 Michelle Zimmarmann

場 所 2年教室

1 単元名 Unit5 A Park or a Parking Area, *New Horizon English Course Book2*

2 単元の目標

ある話題に関する意見や考え方を読んで理解するとともに、自らの意見や考え方をまとめ、発表する。

3. 基盤（生徒観は省略）

（1）教材観

本単元では、少女クミの骨折事故をきっかけとする駐輪場建設計画の是非をめぐる論争を扱っている。そのため、自分の意見や考え方を発表する活動につなげやすい単元である。また、FAXによる伝言や新聞の記事・投書欄といった情報媒体が登場するため、これらに関連付けた学習活動を展開することも考えられる。

しかし、本単元は留意すべき点がある。それは話題の中心が自転車による社会問題だということである。本校の校区内は、自転車や車などによる社会問題とは無縁であり、本単元の話題には、生徒が関心を持ちづらいことが予想される。そのため、本単元の話題をそのまま扱うことは適当ではないと考えられる。

文法事項としては、接続詞の中でも、従位接続詞に分類される“if” “that” “because” “when”の4つを扱う。これまでに等位接続詞として“and”や“or”を学習しているが、従位接続詞を扱うのは本単元が初めてである。従位接続詞を用いた文は、内容を伝える順が日本語のそれとは反対になることがある。また、常に節が導かれるために主語が必須となるが、日本語を母国語とする学習者は、日本語の影響で主語を落としやすい。さらに、本単元で扱う接続詞には、副詞節と名詞節を導くものが混在しながら導入されるため、生徒の理解の障がいとなりうることも考えられる。これらの理由から、本単元の文法事項は生徒にとって比較的わかりにくいものであると言える。したがって、文法事項の導入では、生徒への負担を考え、方法や順番、内容等に工夫が必要とされる単元である。しかし、複雑であるが故に本単元の文法事項を学習することは、自分の意見や考え方を述べる際に理由や条件を添えることができるようになるなど、表現の幅を大いに広げることができる。

以上のことから、本単元は学習のまとめ段階である話題についての自分の意見や考え方を発表させることが望ましい。なお、本単元では他者の意見や考え方について自分の意見や考え方を述べる場面は強調されていない。そのような場面は第3学年のUnit5における「中学生に携帯電話が必要か否か」という題材で扱われている。しかし、統合的な活動を重視するという観点から、他が発表したものに対してコメントを述べる場面を設定することも考えたい単元である。

### (3) 指導観

本単元での学習を通して身につけてほしい力は、ある話題に対する自分の意見や考え方を述べること、すなわち発信する力である。通常は8時間で構成する本単元であるが、今回は自分の意見や考え方を述べる時間を確保するために9時間で構成することとする。

また、本単元の学習の進め方については、最初に本単元で学習するすべての文法事項を導入する。これは、従位接続詞の用法における特徴を集中的に扱うことで生徒の理解を円滑にすることができると思うためである。また、導入の際は“if” “because” “when” “that”の順とし、副詞節を導く“if” “because” “when”を一つのまとまりとして導入し、その後、名詞節を導く“that”を導入する。これも、用法の特徴ごとにまとめて導入することで生徒が理解しやすくなると考えるためである。なお、これら4つの従位接続詞の導入に際しては、「主節＋従節」の並びとなる文のみを扱い、単元前半では、この形に十分に慣れることをねらいたい。単元後半の本文理解に入る前に文法事項に関するまとめの時間をとり、「従節＋主節」という並びも扱う。

本時においては、「英語を勉強しなければならないか、否か。」という問いについて、自分の考えを書き、発表する活動を行う。教材観でも述べたように、自転車による社会問題が本校生徒にとって疎遠な話題であるのに対し、英語学習の必然性と言う話題は生徒にとって自分の意見や考えを述べるのに値すると考えている。

展開の前半では、英語学習の必然性について自分の考えを日本語でまとめる時間をとる。PISA 調査（読解）の結果から、日本の子どもたちの解釈、熟考・評価における無回答率の高さが指摘されているが、この傾向は本校の生徒にも当てはまっている。そのため、英語で表現する前段階として、考えをまとめさせる時間が必要だと思われる。このとき、考えをまとめる際に用いるキーワードとして「もし～」「なぜなら～」「～なので」の3つを使うようにする。これにはもちろん本単元で学習した接続詞を使わせたいという思いもあるが、接続詞を用いさせることで必然的に自分の意見や考え方を深く、詳しく記述させたいというねらいもある。

展開の中盤では、まとめた自分の意見や考え方を英語にする。このとき、机間支援を行い、日本語でまとめられたものも主節と従節に分類させることで、英作文を円滑に行えるようにする。また、英作文の際には和英辞書は使わずに生徒から表現を引き出したり、教師が適切な表現を助言したりする。自分の意見や考え方をまとめた英文は最低3文以上で構成することとする。英語を苦手としている生徒に配慮し、あらかじめ用意された文の中から1文を選べるようし、残りの2文以上を考えるワークシートを準備する。

展開の後半では英作文したものを覚えて発表することを目標とする。覚えるために繰り返し読むことで、話すことの正確さや適切さにつなげることができると思う。発表の最後には、友だちの何人かを指名し、コメントをもらう。しかし、発表者の発表内容に応じて自分なりコメントを考え、応える活動は、第3学年で行う予定である。そこで本時では、自分なりのコメントを考えるのではなく、発表者の意見に対する自分の賛成（反対）の度合いを教師が用意した5種類の表現から選択して応えることにする。

本校の研究主題は「主体的に学ぶ生徒を育成するには、どのような教育活動を展開すればよいか～互いに伝え合い、学び合い、高め合う授業の創造を目指して～」である。

本時においては、「伝え合う」に焦点が当ててある。その中でも、伝えるための前段階

として必要となる自分の意見や考え方を「個で深める」時間を重視している。そのため、生徒一人一人がじっくりと考える時間を確保するとともに、その考えを深めることができるようにワークシート等を工夫したい。

また、学習の後半で行う発表時に、生徒それぞれの意見や考え方に対して、賛成（反対）の度合いを述べることは、外国語学習における統合的な活動につながるとともに、「伝え合い」から「学び合い」につなげるためのものであると考えている。

#### 4. 単元の評価規準

	ア.コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ.表現の能力	ウ.理解の能力	エ.言語や文化についての知識・理解
聞くこと				
話すこと	①間違いを恐れずに、自分の考えなどを話している。 (取組)	①接続詞を用いて、伝えることができる。(正確) ②他者の意見に適切に応答することができる。 (適切)		
読むこと			①ある計画に関する記述 それに対する意見や考え方に関する記述を理解することができる。 (正確)	
書くこと	①間違いを恐れず、積極的に書いている。(取組)	③接続詞を用いて、自分の意見や考え方を書くことができる。(正確)		①接続詞を用いた文の構造を理解している。 (言語)

#### 5 単元の指導計画及び評価計画（全9時間）

時間	主な学習活動	評価規準	予想される生徒の具体的な姿と支援	評価方法
1	○接続詞ifの導入・演習 (1)ifの導入（主節＋従節） (2)主節と従節の組み合わせ問題 →口頭練習 (3)表現活動 自分が、ある行動をとるための条件を発表する	イ①	A:- B:ある行動をとるための条件を加えて発表することができる C(支援):習熟度に応じた助言をする	観察 (発表)
2	○接続詞becauseの導入・演習 (1)becauseの導入（主節＋従節） (2)主節と従節の組み合わせ問題 →口頭練習 (3)表現活動 是非の判断について、自分なりの理由を加えて発表する	イ①	A:- B:是非の判断について、理由を加えて発表することができる C(支援):習熟度に応じた助言をする	観察 (発表)



6 本時の学習

- (1) 目標 ①英語学習の必然性について、自分の考えをまとめる (アの①)  
 ②接続詞を用いて、英語学習の必然性について自分の考えを書く (イの③)

(2) 展開

時間	学 習 活 動	教師の支援 ①JTE ④ALT	評 価
5分	○Greeting	・あいさつや簡単な質問をすることで、英語学習の雰囲気をつくる。	
42分	<p>○全時までの復習</p> <p>・Q&amp;A : Unit5 の内容について</p> <p>① Who is this?</p> <p>② What did she break?</p> <p>③ Why?</p> <p>④ Where?</p> <p>⑤ What will become a new parking are for bikes?</p> <p>⑥ Is it a good news for Jackie Pepper?</p> <p>⑦ Does he think that they can keep their parks?</p> <p>○表現活動①</p> <p>・話題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>I think that we have to study English.</p> <p>I don't think that we have to study English.</p> </div> <p>・自分の考えや提案を述べるとき                      の表現を教科書から抽出。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>(予想される生徒の答え)</p> <p>I'm against the plan <b>because</b> we need our parks.</p> <p>We can keep our parks <b>if</b> we change our habits.</p> <p>Walk <b>when</b> we don't have to ride our bikes.</p> <p>Be careful <b>when</b> we park our bikes.</p> </div> <p>・ワークシート (資料) の指示にある表現を用いて、自分の意見をまとめる。                      (ワークシートで指示する表現は教科書にあるもの)</p>	<p>④生徒が質問の意味を理解しやすいように、声の抑揚を聞かせたり、答えやすいように絵を提示したりする。</p> <p>・生徒が単語で答えた場合は、文にしたものを復唱することで、文で答えることへの意識づけをする。</p> <p>①教科書の表現を思い出させることで、考えや提案を考えるための手立てとする。</p> <p>①意見をまとめることが困難な生徒には、考えていることを声に出して言うように促し、まとまりがつかない部分はまとめることができるように助言する</p>	<p>評価①</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートにまとめた意見を英語にする。</li> <li>英語で書いた自分の意見を暗記できるように、繰り返し読む。</li> </ul> <p>表現活動②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>板書してある未修表現を練習する。</li> <li>発表に対してコメントする際に用いる3つの表現を練習。</li> </ul>	<p>① 意見をまとめた生徒には、書いた内容を主節にあたる部分と従節にあたる部分に分類するように促す。</p> <p>① ④ 英語で書くことにつまずいている生徒には既習の表現や単語で言い換えができないか、考えるように促す。それでも、適当な表現がない場合は、未修の表現を提示する。この未修の表現は板書し、誰もが確認できるようにする。</p> <p>④ 練習をしていない場合、英文を見ずに言えるかどうかを試すように促す。</p> <p>① 練習をすることで、未習表現の理解を確かなものとし、発表内容の理解を助ける。</p> <p>④ 生徒にとっては単調な練習となるが、この後の活動で必要となるので、しっかり練習するように促す。</p>	評価②
	<p>I agree with you.      I agree with you a little.      I don't agree with you.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を発表し、発表後には誰かを指名し、コメントをもらう。</li> </ul>	<p>① 発表者が自信を持って発表できるように、聞く側の姿勢を整える。</p> <p>① 他者の発表内容を理解できない生徒がいると思われた場合、教師が発表者と内容について問答することで、理解へつなげる。</p> <p>④ 可能な場合、発表内容についてコメント加えたり、質問したりすることで、発表者の達成感を深める。</p>	
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ</li> <li>本時のまとめと次時の予告をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見や考え方を持つことの大切さを確認する。</li> </ul>	

(3) 視点

- ① 話題に対する自分の考えをまとめて発表する学習活動は生徒の学びあいとなりえていたか。
- ② 本時の目標を達成するために、本時の展開や題材は適切であったか。

(4) 本時の具体的な評価

① 英語学習の必然性について自分の考えをまとめている。

おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒への具体的な支援
英語学習の必然性について、自分の考えをまとめている	考えていることを声に出して言うように促し、まとまりがつかない部分はまとめることができるように助言する

② 接続詞を用いて、英語学習の必然性について自分の考えを書くことができる。

おおむね満足できると判断される生徒の具体例	努力を要すると判断される生徒への具体的な支援
接続詞を用いて、英語学習の必然性について自分の考えを書くことができる	習熟度に応じて助言したり、書く英文の量を減じたりする